

(様式2)新規評価シート

事業種類	治山・砂防		事業名	山地治山				
市町村名	川上村	ふりがな 箇所名	だいいちぎわ 大日沢	事業年度 (完了年度は見込み)	H26 年度～	H26 年度		
事業概要	区分	事業内容	事業費(千円)	財源内訳(千円)				
	全体	谷止工(コンクリート)1個	43,000	国庫	その他	県債	一般財源	
H26年度								
箇所評価	区分	評価項目・指標等	評価区分			①得点	②重み 係数	③評点 (①×②)
	必要性	保全対象人家戸数	■ 10戸以上	□ 1～9戸	□ 0戸	25	0.2	18
		保全対象公共施設	■ 2箇所以上	□ 1箇所	□ なし	25		
		保全対象に災害時要援護者関連施設があるか	□ 重要施設	□ 一般施設	■ なし	0		
		事業目的(保安林・林業用施設)	■ 「広域基幹林道」又は利用区域500ha以上の林道又は保安林率50%以上	□ 保安林率30%以上50未満又は流域対策上保全すべき森林あり	□ 保安林率30%未満	40		
	小 計					90		
	重要性	過去の災害履歴	□ 過去5年に1回以上	■ 災害履歴地	□ なし	20	0.1	8
		交通遮断による地域経済などへの影響	□ 大	■ 中	□ 小	20		
		防災計画上の位置づけ	■ あり	□ なし		40		
		小 計						
	効率性	費用対効果(B/C)	□ B/C2.0以上	■ B/C1.0以上2.0未満	□ B/C1.0未満	25	0.1	7
		事業効果の早期発現度(事業年数)	■ 3年未満	□ 3年以上5年未満	□ 5年以上	40		
		流域の総合調整	□ あり	■ なし		10		
		小 計						
	緊急性	最寄の保全対象までの距離	■ 50m未満	□ 50m以上200m未満	□ 200m以上	20	0.4	34
平均溪床勾配(平均山腹勾配)		□ 10° 以上(30° 以上)	■ 5° ～10° 未満(20～30° 未満)	□ 5° 未満(20° 未満)	15			
下流の堰堤等の整備状況(他所管含む)		□ なし	■ あり(概ね満砂)	□ あり(ポケットあり)	10			
山地災害危険地区危険度		■ Aランク	□ Bランク	□ Cランク □ なし	40			
小 計					85			
計画熟度	地域からの要望	□ 地域住民の内発的な活動が強い	■ 市町村等からの要望有り	□ 特に要望がない	25	0.2	12	
	事業情報の共有	□ 広く一般に周知	■ 関係者中心に周知	□ 特に周知していない	25			
	県民参加と協働	□ あり	■ なし		10			
	小 計							60
費用対効果(B/C)		6.43	評価の合計				79	
事業周辺環境	事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	当該地のある大日川は過去より氾濫を繰り返していた河川であり、治山事業における施設整備がなされてきた。既設谷止工には老朽化に伴って崩壊している箇所が見られており、施設崩壊による土砂流出を未然に防止するために、対策を講じる必要がある。						
	地域からの要望経緯	平成25年8月、役場より早期の事業実施要望がなされた。						
	事業説明等の経緯	平成25年12月2日に地区住民等を対象に事業説明会を開催し、山地荒廃状況、復旧対策方針について説明した。						
	環境・景観への配慮項目	近くに金峰山があり、観光客も多数訪れる場所であるため、周囲環境に馴染むような構造とする。						
	他事業・プロジェクトとの関連	特になし。						
	特記事項	特になし。						
地域の合意形成	□ 全員賛成	■ 概ね賛成	□ 過半数賛成	□ 動向不明				
部意見	既存施設の経年変化等による老朽化が著しく、機能が低下している。直下に村道があることから、早急に対策を図る必要がある。			行政改革課見	昭和30年代前半に自然石で造られた谷止工。老朽化により施設損傷が発生しており下方に村道があることから、必要性、重要性、緊急性が認められる。			